

豊中陸上フェスティバル



6月23日、豊頃中学校で『陸上フェスティバル』が開催されました。

『陸上フェスティバル』は、学年対抗の駅伝大会で、女子の部と男子の部に分かれて、行われました。開会式では、東野大夢くん(3年)が「自分と仲間を信じて精一杯がんばることを誓います」と選手宣誓を行い、大会が始まると、生徒たちは一生懸命走り、タスキをつないでいました。

友遊館でチャリティーバザー



6月6日～7日にはるにれ友遊館ゆうゆう広場で『第4回陶の器たちのチャリティーバザー』が開催されました。

バザーは、豊頃ねんどクラブ(熊野ミサ子代表)が、東日本大震災の被災地支援を目的に行っているもので、今年で4回目の開催となり、売り上げの一部を町社会福祉協議会へ寄付しています。

当日は、コーヒーカップや皿など、会員が制作した個性的な器が低価格で販売され、町内外からたくさんのお客さんが詰めかけました。

商工会青年部が清掃活動



6月4日、茂岩入口駐車場付近で豊頃町商工会青年部(黒井崇匡部長)による清掃活動が行われました。

これは、全国統一事業『絆』感謝運動』として、『青年部と地域との絆』、『青年部員同志の絆』を確認し地域への感謝を目的とし、全国1,700ある商工会青年部が一斉に取り組むもので、豊頃町でも青年部員6名が参加し、茂岩入口駐車場付近のごみを拾い集めました。

自慢の牛 スタイルを競う



5月30日、平成26年度豊頃町総合家畜共進会(豊頃町農業協同組合主催)が農協多目的施設広場で開催され、乳牛、黒毛和種の両部門で計58頭が月齢別13部門に分かれて、その体格や将来性などを競いました。乳牛の部では、清水町の酪農家、高橋喜一さんが、黒毛和種の部では十勝農業協同組合連合会の由佐哲朗さんが審査にあたりました。

最高位は、次のとおりです。(敬省略)
【乳牛の部・未經産】エルムランド アポ スパーク 1831 Aフタゴ(山口雄峰)
【乳牛の部・経産】Jリード チャンピオン ヤマイルド(Jリード)
【黒毛和種の部】ゆりえ(武隈英和)

石邑さんが行政評価局長表彰



5月26日、帯広市内で行われた行政相談委員全体会議において、石邑良雄さん(豊頃旭町)に『北海道管区行政評価局長表彰状』が贈呈されました。

これは、釧路行政評価分室管内(釧路、芽室および十勝地方)で活動している行政相談委員の中から、その業績が顕著で他の委員の模範となる方を表彰するものです。

石邑委員は、平成15年4月1日に北海道管区行政評価局(釧路行政評価分室)から豊頃町担当行政相談委員の委嘱を受け、本年まで多年にわたり行政相談委員として、本町の行政に対する苦情の解決に尽力された業績が認められ、今回の表彰となりました。

農地の貸し借りの新しい仕組みです!

担い手への農地集積・集約化を推進し、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進めることを目的として「農地中間管理事業」が実施されます。

●農地中間管理機構とは

この事業を公平かつ適正に行うことができる法人として、北海道から「公益財団法人 北海道農業公社」が指定を受けて事業を行います。
※豊頃町では「農地中間管理機構」業務の一部の委託を受け、町および農業委員会が手続き等を行います。

●農地中間管理機構に農地を貸した地域・農家には・・・「機構集積協力金」が交付されます

- ① 地域集積協力金
* 地域内の農地を機構に貸した割合に応じて「地域」に交付されます。
* 交付金の用途は「地域」に自由に決めることができます。

【交付単価】2万円～3.6万円/10a

- ② 経営転換協力金
農業をやめる場合や、経営の柱としていた作物を一部やめる場合に、機構を経由(貸出)して担い手に農地を貸した所有者に交付されます。

【交付単価】0.5ha以下～30万円/戸
2ha以下～50万円/戸
2ha超～70万円/戸

- ③ 耕作者集積協力金
機構が借り受けている農地などの隣接する農地を、機構を経由(貸出)して担い手に貸した場合、農地の所有者または耕作者に交付されます。

【交付単価】2万円/10a(平成27年度まで)

※交付単価は、平成28年～29年度は1/2、平成30年度は1/4に減額となります。

農地の貸し借り(農地中間管理事業)

相続した農地を誰かに貸したい。
高齢で農業をやめたいけど、農地は守りたい。

地域内の農地を借りて規模を拡大したい。
農業を始めたいので、農地を借りたい。

北海道農業公社
(中間管理機構)

① 農地を借受け(農地中間管理権)

② 担い手(個人経営・法人経営・集落営農など)がまとまりのある形で農地を利用できるように配慮して貸付け

③ 貸し付けるまでの間、農地として管理

④ 借り受け先が確実な場合、簡易な条件整備を実施

貸し手

借り手

農地の借受け

農地の貸付け

※詳しくは、役場産業課 ☎(574) 2217 または 農業委員会 ☎(574) 2218 までお問い合わせください。

ライオンズクラブが少年団に助成金



6月17日、豊頃ライオンズクラブ(藤田博規会長)が、豊頃町スポーツ少年団本部(林俊則本部長)に助成金を贈りました。

この日は、藤田会長がえる夢館を訪れ、林本部長に助成金を手渡しました。

この助成金は毎年贈られているもので、町内の9少年団の活動費の充てられます。

林本部長は、「スポーツ活動を頑張っている子どもたちにとって、毎年とても貴重なご支援をいただき、ありがとうございます。今後の少年団活動に役立てていきたいと思っております。本当に助かります」と話していました。

猟友会より鹿肉缶詰の寄附



5月28日、北海道猟友会池田支部豊頃部会(森一彦会長)の太田垣啓二さんと原田昌明さんが役場を訪れ、町に豊頃町災害用備蓄食糧として、鹿肉缶詰200缶(130,000円相当)を寄附しました。

本町は、例年エゾシカによる農作物の被害が深刻であり、農業者の大きな悩みとなっており、猟友会池田支部豊頃部会においても、町の委託を受け毎年エゾシカの一言駆除を行っています。



この鹿肉缶詰は、駆除したエゾシカを加工し作られたもので、災害時の食糧として、使用されます。

はるにれは見ていた ほか

役場だより

はるにれは見ていた

役場だより

